

神宮の博物館

令和6年4月～令和7年3月

令和6年度 展覧会のご案内

休館日

【徴古館農業館】木曜日(祝日の場合はその翌平日) 年末3日間は休館

【美術館】木曜日(祝日の場合はその翌平日) 年末3日間は休館

【せんぐう館】毎月第2・4火曜日(祝日の場合はその翌平日)

※展示替えによる臨時休館有り。
※その他臨時に休館することがあります。詳しくはホームページをご覧ください 神宮の博物館

検索

令和6年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年	1月	2月	3月
------	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	------	----	----	----

本館展示【①神宮の祭典と建築(外宮御饌殿復原展示) ②神宮の歴史など】

古代から近代にかけての神宮や式年遷宮の歴史について、徴古館を創設した神苑会にも触れながら収蔵資料や神宮文庫の文献資料を借用して紹介する。
また神宮の概要がわかるような祭典に関する資料も展示する。
展示替日(予定)→6月6日(木)、8月22日(木)、12月5日(木)、令和7年3月13日(木)

別館展示 4月～9月

別館展示 9月～11月

別館展示 11月～3月

1室 神宮の御料

神宮神田や御園・御塩浜などの御料に関連する資料を紹介。また勅農絵画も展示する。

2室 自然の産物と殖産興業

自然の産物がいかに人のくらしに役立つかをテーマに収集された明治期の資料(産業・自然史資料や剥製)を紹介。
また大正から昭和にかけて製作された蠟細工のうち、菌糸類・果樹類蠟細工模型を展示。併せて田中芳男が作製した蠟墨による採取標本(掛軸)等を展示する。

神宮美術館開館30周年・第70回日本伝統工芸展記念

特別展「式年遷宮と日本伝統工芸」

3月15日(金)～4月17日(水)

今回の日本伝統工芸展の出品作を厳選して展示し、将来へ受け継がれるべきわが国の工芸の粋を見出す。また神宮美術館の開館30周年の記念として、これまでの敬神の念あふれる崇敬者からの奉賛と名工・名匠に支えられた式年遷宮の神宝調製についても思いを馳せて頂くことを企図する。

美術館収蔵品展

4月20日(土)～7月23日(火)

わが国の美術工芸作品の歩みを展望できる「美の殿堂」を目指して活動している当館には、平成5年(1993)開館以来当代一流の作家の方々から奉納の遷宮奉賛の真心こもる作品が現在490点以上収蔵されている。そのコレクションから約30点を展示する。

特別展

「和-歌会始御題によせて-」

7月26日(金)～8月27日(火)

皇室新春の「歌会始」の御題を主題とする特別展。今回は御題「和」へのアプローチを「わが国を象徴する『和』風に題材を求めた作品」と「見ていると心が『和らぐ』作品」との大きく二つに分けて、近代の美術工芸品を展観する。

特集

「令和5年度奉納 神宮式年遷宮奉賛美術品展」

8月30日(金)～12月24日(火)

平成7年(1995)より始まった恒例の特集展示。当代を代表する芸術家の方々から神宮に献納された美術工芸作品を公開するもので、本年度は令和5年度奉納の華麗・秀逸なる作品の数々を公開する。

美術館収蔵品展

12月27日(金)～令和7年4月22日(火)

わが国の美術工芸作品の歩みを展望できる「美の殿堂」を目指して活動している当館には、平成5年(1993)開館以来当代一流の作家の方々から奉納の遷宮奉賛の真心こもる作品が現在490点以上収蔵されている。そのコレクションから約30点を展示する。

《20年に1度行われる式年遷宮の祭と、神々に奉られる御装束神宝を調製する技と自然から得られる素材について紹介する》

展示室3 【①永遠の匠たち-御装束神宝調製の技-】

鶴斑毛御彫馬 公開中 ～ 令和7年6月23日(月)

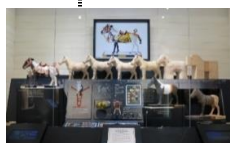
展示室4 【②永遠の匠たち-御装束神宝調製の技-】

玉佩・玉佩筥・玉筥・刀剣研磨資料 公開中～6月24日(月)

梓御弓・矢 6月28日(金)～ 令和7年6月23日(月)



玉纏御太刀
(たままきのおんたち)



鶴斑毛御彫馬
(つるぶちけのおんえりうま)



梓御弓
(あずさのおんゆみ)



矢
(や)

展示室7 【神宮の20年】

①摂社・末社・所管社の遷座 ②神宝刀剣の源「鋸(けら)」開催中 ～ 令和7年3月31日(月)

第62回神宮式年遷宮完遂後、引き続き約10年かけて行われる摂社・末社・所管社の遷座祭(修繕・造替)について、令和6年度に斎行予定の神社を紹介する。

また、たたら製鉄により生み出される鉄の塊「鋸」を展示し、神宝の御太刀・御鉾調製の材料である玉鋼と製鉄の技術を紹介する。

展示室8

刀剣研磨資料公開 6月28日(金) ～

神宝の御太刀・御鉾を調製する為に欠かすことのできない刀剣研磨の技術について紹介する。